

本調子

五		▽
尺		
工		
○		
四		
上		
尺		
工		
○	ウ	△
尺	ヤ	
○	ア	
工		
五	ヌ	

工	
○	ヤウ
工	
四	
工	ウ
○	
五	グ
工	ヌ
合尺工	
尺	ワ
工	

七	フ
〇	ウ
五	
尺	カ
工	ア
〇	
五	キ
尺	ム
上	ウ
工	ヌ
〇	
五	

尺	
工	
○	チ
五	チ
工	イ
尺	グ
上	
尺	ヌ
工	
尺	
上	
四	

乙	
合	
〇	
四	
〇	ワ
上	
尺	ヤ
工	
五	
尺	マ
上	
尺	

上	タ
四	カ
老	
四	サ
○	
四上尺	
合	
○	ファ
合	ファ
○	
上	グ

尺	
工	ヌ
工	
工	
上	
老	ヌ
四	
○	
四	ワ
合	
四	ウ
○	

上	ミ
尺	
上	
四	
工	フ
乙	
合	
尺	カ
合	
○	サ
四上尺	

[illegible]

無蔵念佛節

本調子

2/2

一、親（ウヤ）ぬ ヤウ 御恩（ウグヌ）
（は）深きむぬ 父御（チチグ）ぬ
御恩（ウグヌ）は 山高（ヤマタ
カ）さ 母御（フアフアグ）ぬ 御
恩（ウグヌ）は 海深（ウミフカ）
さ
〔親の御恩は深きもの、父上の御恩
は山よりも高く、母上の御恩は海よ
りも深いものである〕

二、山（ヤマ）ぬ ヤウ 高さやさ わ
かりん 海（ウミ）ぬ ヤウ 深さ
んさ わかりる 昼や ヤウ 父御
（チチグ）ぬ 足が上（ウイ）
〔山の高さは、測り知る事ができる
、海の深さも測り知る事が出来る。
昼は父上の脚の上で〕

三、扇子（オージ）ぬ ヤウ 風（カジ
）に ヤウ あおがりてい夜（ユル
）や ヤウ 母御（フアフアグ）ぬ
懐（フトウクル）に十重（トウヤ
イ）む 二十重（ハタイ）む 衣装
が内（ウチ）

四、濡（ヌ）りる ヤウ 方（カタ）に
は 母（フアフア）ゆくてい 乾（
カワ）く ヤウ 方（カタ）には
子（クワ）寝（ニ）してい 諸共（
ムルトウム）濡（ヌ）りりば 胸（
ムニ）が 上（ウイ）

〔扇の風に、扇がれて、夜は母上の
懐に、十重、二十重の衣装の内側に
一

〔濡れた所には、母上が寝て、乾い
た所には、子供を寝かせ、諸共に濡
れると、母上の胸の上に寝かし〕

五、くり程（フドウ）親（ウヤ）に ヤ
ウ 思（ウム）わりてい年（トウシ
）や ヤウ 二十歳（トウハタチ
）なゆりどうむ 親（ウヤ）ぬ ヤ
ウ 御恩（ウグヌ）は 未（マ）だ
知らん

〔これほど親に、大切に思われて、
年は二十歳にもなっているが、親の
御恩は、未だ知らない〕